

# パウロの詩編

---

シリーズ～詩編～

2015.4.12

## 詩編32篇

【ダビデの詩。マスキール。】

いかに幸いなことでしよう

背きを赦され、罪を覆つていただいた者は。

いかに幸いなことでしよう

主に咎を数えられず、心に欺きの  
ない人は。

わたしは黙し続けて

絶え間ない呻きに骨まで朽ち果て  
ました。

御手は昼も夜もわたしの上に重く  
わたしの力は夏の日照りにあつて  
衰え果てました。

わたしは罪をあなたに示し

咎を隠しませんでした。

わたしは言いました「主にわたしの  
背きを告白しよう」と。

そのとき、あなたはわたしの罪と  
過ちを赦してくださいました。

あなたの慈しみに生きる人は皆

あなたを見いださしうる間にあなたに祈ります。大水が溢れ流れるときにも

その人に及ぶことは決してありません。

あなたはわたしの隠れが。

苦難から守ってくださいさる方。

救いの喜びをもつて

わたしを囲んでくださる方。

わたしはあなたを目覚めさせ

行くべき道を教えよう。あなたの上に目を注ぎ、勧めを与えよう。

分別のない馬やらばのようにふるまうな。それはくつつわと手綱で動きを抑えねばならない。そのようなものをあなたに近づけるな。

神に逆らう者は悩みが多く

主に信頼する者は慈しみに囲まれる。

神に従う人よ、主によって喜び躍れ。すべて心の正しい人よ、喜びの声をあげよ。

## 特別な詩編

- 「7つの悔い改めの詩篇」の一つ
  - 6篇、32編、38篇、51篇、102篇、130篇、143篇
- 大神学者アウグスティヌスが愛した詩編
  - 彼はしばしばこれを読んで涙を流し、死の直前の病床の時には、向かいの壁にこれを書いて、病床の慰めとした
- 宗教改革者ルターが「パウロの詩編」と呼んだ
  - 弟子たちに「最高の詩編は？」と尋ねられ、躊躇することなくこの詩編を選んだ
  - パウロがローマ書4章で引用している

## 人間にとって最高の幸せ

- 「いかに幸いなことでしょう！」
  - あなたにとっての「幸せは」?
- 「背きを赦され」「罪を覆われ」「咎を数えられ」ないこと
  - 「背き」: 神への反逆
  - 「罪」: “的外れ”。神の目的から外れる
  - 「咎」: 悪い性格。ひねくれた心
- 神との関係に何ひとつ邪魔がない!
  - 神の一方向的な恩寵により赦された

いかに幸いなことでしょう  
背きを赦され、罪を覆っていたただいた者は。  
いかに幸いなことでしょう

主に咎を数えられず、心に欺きのない人は。

## 罪の重さに苦しんだダビデ

- 祈る言葉さえ見つからず、「黙し続けて」いた
- 心はボロボロになった
  - 「骨」とはからだの中心。「心」のこと
- 神に責められていると感じ、苦しむ
  - 「御手」が重くのしかかっている
- 体全体が「夏の日照り」にあったように、干からび、弱り果てている
  - どん底のダビデ

わたしは黙し続けて

絶え間ない呻きに骨まで朽ち果てました。

御手は昼も夜もわたしの上に重く わたし

の力は夏の日照りにあつて衰え果てました。

## 告白による解放

- **ダビデは自分の罪を徹底的に探し出した**
  - 何ひとつ隠し立てしなかった
- **罪の告白をし続けた**
  - カトリックでは聖職者に告白する「ゆるしの秘跡」があるが、プロテスタントでは神に直接行う
- **赦された実感**
  - ただ告白しただけなのに、「赦して下さいました」と感じた

わたしは罪をあなたに示し／咎を隠しませんでした。

わたしは言いました「主にわたしの背きを告白しよう」と。

そのとき、あなたはわたしの罪と過ちを赦して下さいました。

# なぜ告白して赦されたと感じたのか

- 神の前に正直であること
  - 「自分の罪を公に言い表すなら、神は真実で正しい方ですから、罪を赦し、あらゆる不義からわたしたちを清めてくださいます。」ヨハネの手紙一1:9
- イエス・キリストの十字架の贖いのお陰
  - 「わたしたちはこの御子において、その血によって贖われ、罪を赦されました。これは、神の豊かな恵みによるものです。」エフェソ1:7
- キリストの贖罪は時間を超越する
  - 旧約の聖徒たちは本当のメシヤを待ち望んでいた



## 罪赦された人の確信

- 祈れる幸い
  - 神への祈りは無駄にはならない
- 守られている幸い
  - 苦難や災いから守られている
- 救われている幸い
  - 罪から救われ、神との永遠の交わりに入れられている
  - 何が起こっても自らを責める必要はない!

あなたの慈しみに生きる人は皆

あなたを見いだしうる間にあなたに祈ります。

大水が溢れ流れるときにも

その人に及ぶことは決してありません。

あなたはわたしの隠れが。

苦難から守ってくださいさる方。

救いの喜びをもつて

わたしを囲んでくださる方。

いかに幸いなことぞしよらう  
背きを赦され、罪を覆つて  
いただいた者は。

いかに幸いなことぞしよらう  
主に咎を数えられず、  
心に欺きのない人は。